

勝間小学校体育館でPTA主催による『チャレンジランキング大会』が開催されました。テーマは「遊びの記録に挑戦しよう」で、金・銀・銅メダルも準備されました。外は粉雪が散っていました。100人を超す子どもたちの参加があり、体育館内は熱気であふれていました。

2/17



2/27

辻幼稚園の園児たちが香川用水調整池と満濃森林公園へお別れ遠足に行きました。香川用水調整池では、タイヤが自分の身長以上もあるおおきなダンプを見学したり、ダム completion 予想図を見ながら説明を聞いたり、見たこともない広い工事現場や働く車に、園児たちは大喜びでした。



2/28

財田中小学校の6年生13人が、平成20年第2回三豊市議会臨時会を傍聴しました。小学校の社会科授業で政治についての勉強があり、「自分たちの市の議会はどんなだろう」ということで、この議会傍聴を行いました。議会を傍聴した児童は、「国会みたいだった」「投票などを間近で見られて勉強になった」と目を輝かせていました。

みとよHOT ほっとNEWS



2/28

下高瀬幼稚園でお世話になった地域の皆さんを招待して、『お別れお茶会』が開かれました。修了を前にした年長児たちは、自分たちで作ったお茶碗に抹茶をたて、「お世話になりました。ありがとうございました」の心を込めておもてなしをしました。

(財)自治総合センターは、地域住民の親睦と融和を図り、地域が発展することを目的としてコミュニティ活動に助成を行っています。このたび宝くじの助成を受けて、仁尾町の美浜自治会の自治会館が完成しました。この施設は、コミュニティ活動を積極的に行う中心となる場所として子供会活動や地区の集会場に利用します。



自治体消防制度が始まり60年になります。これを記念し、日ごろから地域の防火防災活動に取り組んでいる団体に表彰状が送られ、幼年消防クラブとして詫間保育所幼年消防クラブが、県下で唯一表彰を受けました。表彰を受けた5歳児25名は、「幼年消防隊員としてがんばります！」と力強く宣言しました。



3/7



2/20

今年初めてとなる「交通事故死ゼロを目指す日」に、三豊市交通安全対策協議会と詫間小学校の児童が、詫間町武道館前の県道で交通安全キャンペーンを行いました。児童は、交通安全のチラシやマスコットを配りながら「安全運転してください」と、ドライバーに呼びかけました。



2/23

高瀬町総合体育館で第2回三豊市長杯小学校対抗ソフトバレーボール大会が開催されました。この大会は、誰でも参加できるようにと、経験者と未経験者を分けて行われました。市内の学校から44チーム、230人の参加があり、熱戦が繰り広げられました。



2/28

詫間町の紫雲出山山頂で「紫雲出山のてっぺんでボランティア」が行われました。このボランティアは詫間町観光協会の呼びかけで行われ、桜の手入れや歌碑の掃除などの作業を行いました。この中で、大浜小学校と箱浦小学校の5、6年生で構成する「緑の少年団」は、小鳥の巣箱かけを行いました。今までに設置されている約40個の巣箱を、ひとつひとつ回収・手洗いし、自分たちで新しく作った巣箱4個と一緒に取り付けました。



3/9

詫間町生里の三宝荒神社で、県指定無形民俗文化財の「生里百々手祭」が行われ、厄払いと大漁豊作、平安無事を祈願しました。この百々手祭は、藤原時代（延喜年間901〜923年）の発祥といわれています。今年もたくさんのお見物人でにぎわう中、横一列に並んだ7人の射手（いこ）が的を狙って矢を放ちました。



2/16

三豊市社会参加促進事業の一環として、観音寺市雲辺寺スノーパークで、障がいのある人とその家族、スタッフ総勢51人で「ゆきあそび！雲辺寺で遊ぶ」に行きました。当日は晴天に恵まれ、ソリ遊びや宝さがしを体験しました。雲辺寺に行くのは初めてという人も多く、雪を触ったり、雪まみれになって楽しい時間を過ごしました。



2/10

辻スポーツ少年団(ソフトボールチーム)の2年生から6年生の児童15人が、辻地区芸能発表会で時代劇の芝居を披露しました。これは、同チームの徳永和司監督が、芝居を通じてチームワークや個々の精神力向上を図ろうと、30年前から続けられています。児童たちは、心のこもった演技で、約1時間40分の大作を見事に演じ、見ている人たちの涙をさそいました。



3/11

吉津小学校で、文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」として、東京合唱協会の合唱公演が開かれました。会場の体育館には、お隣の吉津幼稚園の園児や保護者の皆さんなど多数の来場があり、参加した児童たちは、身近で感じる美しいハーモニーに目を輝かせていました。